

令和4年第3回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程〔第1号〕

令和4年9月7日（水曜日）午前10時0分 開会

※開会宣告

※開議宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 第36号議案から第43号議案まで及び報
第6号から報第9号まで上程

提案理由説明

決算審査意見報告〔第41号議案から
第43号議案まで〕

副市長	堤 隆
市参事兼総務課長	安田 祐一
市参事兼財政課長	飯沼 憲一
市参事兼建設課長	永松 史年
企画情報課長	丸山野 幸政
地域活力創造課長	小野 政文
税務課長	近藤 直樹
市民課長	黒田 敏信
保険年金課長	大久保 正人
社会福祉課長	田染 定利
子育て支援課長	水江 和徳
健康推進課長	清水 栄二
人権啓発・部落差別解消推進課長	

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

環境課長	後藤 史明
商工観光課長	尾形 稔一
農業振興課長	河野 真一
耕地林業課長	川口 達也
農業地域支援室長	阿部 博幸
都市建築課長	首藤 賢司
上下水道課長	清水 英文
地域総務二課長兼水産・地域産業課長	本田 督二
	船木 靖幸
会計管理者兼会計課長	佐々木 真治
選挙管理委員会・監査委員事務局長	
	藤重 深雪
消防本部消防長	榎本 賢二

○出席議員（15名）

- 1 番 於久弘治
- 2 番 毛利洋子
- 3 番 中尾 勉
- 4 番 黒田 健一
- 5 番 井ノ口 憲治
- 6 番 阿部 輝之
- 7 番 土谷 信也
- 8 番 成重 博文
- 9 番 中山田 健晴
- 10 番 松本 博彰
- 12 番 安東 正洋
- 13 番 北崎 安行
- 14 番 河野 正春
- 15 番 菅 健雄
- 16 番 大石 忠昭

教育委員会
教育長 河野 潔
教育総務課長兼地域総務一課長

学校教育課長	植田 克己
文化財室長	衛藤 恭子
	板井 浩

○欠席議員（1名）

- 11 番 河野 徳久

監査委員
代表監査委員 安部 多喜男
総務課 総括主幹兼総務法規係長

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局長	田中 良久
次長兼議事係長	大塚 栄彦
総括主幹兼庶務係長	黒田 祐子
専門員	小門 敏宏

主幹兼秘書係長 江 畠 信之

○説明のため議場に出席した者の職氏名

市長 佐々木 敏夫

○議長（土谷信也君） おはようございます。

ただいまの出席議員は15名で、議員定数の半数に達しております。よって、令和4年第3回豊後高田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたし

9月7日

ます。

この際、諸般の報告をいたします。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承願います。

これより本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承願います。

○議長（土谷信也君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、12番、安東正洋君及び13番、北崎安行君を指名いたします。

○議長（土谷信也君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から9月26日までの20日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土谷信也君） ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から9月26日までの20日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付しております会議予定表のとおりであります。

○議長（土谷信也君） 日程第3、第36号議案から第43号議案まで及び報第6号から報第9号までを一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、佐々木敏夫君。

○市長（佐々木敏夫君） 本日ここに、第3回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

まず、初めに台風11号についてでございます。

台風につきましては、大型で強い勢力を保ったまま東シナ海を北上し、昨日の午前6時頃、本市に最接近したところでございます。

今回の災害対策といたしましては、事前の備えとして9月3日に大分地方気象台から台風接近に伴い、県内においては大雨警報の可能性があるとの情報提供がございましたので、当日、午前10時に災害未然防止協定に基づきまして、ため池管理者をはじめ、関係者の方々のご協力をいただき、市内45か所の防災重点ため池の水位調整などの対応を行っていただいたところでございます。

また、5日の午後3時には、災害対策連絡室を設置いたしまして、市内8か所に自主避難所を開設し、

避難者の受入れ及び警戒態勢を取ってまいりました。

被災状況等につきましての詳細は調査中でございますが、現時点において幸いにも大きな被害は確認されていないところでございます。

引き続き、台風や大雨の災害に対し、平時からの備えをしっかりと行ってまいりたいと考えております。市民の皆様におかれましても、平素からの防災意識をしっかりと持っていただくようお願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症についてでございます。

7月から8月にかけて全国的に感染拡大が継続しており、依然として猛威を振るっている状況でございます。

県内においても、7月には1日当たりの新規感染者数が1,000人から2,000人と増加し、8月には3,000人を超えるなど、感染が急速に拡大したところでございます。

同様に、経済や生活圏として繋がりが強い県北地域におきましても、急激に感染者数が増加し、本市においては、7月5日には65人、さらに、お盆明けの8月17日には過去最多となる72人の感染者が確認され、本市の人口規模から見ると非常事態ともいべき状況がございました。

また、市内の感染者数は、7月からの2か月間で1,884人に上り、これまでの2年半にわたる全感染者数2,572人の73%を占めており、これまでになく感染規模となっております。

特に、家族内感染の増加からワクチン未接種者の多い子どもへと広がり、さらには医療機関や高齢者施設、市役所などでもクラスターの発生がございました。

市民の皆様に新型コロナウイルスへの感染防止の取組をお願いしている中、市役所内でのクラスターが発生したことにつきましては、非常に重く受けとめているところでございます。

改めて、全職員に対し感染防止対策の徹底と危機意識を強く持つよう注意喚起を行ってまいりました。

市内における感染拡大が収まらない状況が続く中、市議会土谷議長より、市民の皆様に対する感染予防対策について、さらなる効果的な情報発信に努めていただきたい旨の申し入れをいただいたところでございます。

この申し入れを受けまして、改めて市民の皆様へ、こうした感染拡大を止めるには市民一人一人の感染予防行動しか手段がなく、三密の回避、常時換気、消毒など家庭内でも今一度徹底していただくとともに、感染リスクの高い場所へのお出かけをなるべく自粛していただき、ご家族に1人でも具合の悪い方がいれば、仕事や学校等を休んで早めの病院受診をいただくよう、ケーブルテレビによる市長メッセージをはじめ、感染対策の徹底を強くお願いしてきたところでございます。

また、原油高に伴う石油製品の価格上昇や食料品をはじめとする物価高騰の影響を受ける市民の皆様の家計負担の軽減と市内における経済活動の活性化の一助となるよう、全世帯へ2万円分の家計応援お買い物券を発行いたしました。配布にあたりましては、いち早くお届けするため、地域ごとでの会場受け取りの方法を予定しておりましたが、市民の皆様の感染防止対策を最優先にしなければならない状況にございましたので、急遽、対象世帯への郵送によりお届けするよう変更させていただいたところであります。

今もなお、感染状況が継続する中、市民の皆様にはご自身、ご家族を守るためにも、基本的な感染対策の徹底を強くお願いするところでございます。

また、9月29日から第5弾となる総額2億6,000万円の30%プレミアム付商品券の販売を開始します。コロナ禍における物価高騰対策にご利用いただくとともに、地域経済の下支えにもご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症による社会生活への影響が出始めた令和2年度から、市独自の対策といたしまして、市民の皆様の経済的な負担の軽減と地域消費への喚起をはじめとし、高齢者の方などへの支援も交え、各種施策を行ってまいりました。

そのものといたしましては、まず、公正・公平の観点から市民の皆様全員を対象に支援してまいりました事業が4つございます。

第1弾として、令和2年7月に全市民へ1人当たり1万円をお届けいたしました定額支援金でございます。

第2弾としまして、令和2年10月に2回目となる定額支援金を市民1人当たり1万円、高齢者対策などといたしまして、65歳以上の方や障がいのある方などへは5,000円を加算して、支給させていただきました。

第3弾は、令和3年5月に市民1人当たり5,000円分の地域振興券を配布させていただき、高齢者対策などとしたしまして、2回目の定額支援金と同様に65歳以上の方や障がいのある方などへは、2,500円分を加算させていただきました。

第4弾につきましては、全世帯を対象といたしまして、本年7月から1世帯当たり2万円分の家計応援お買い物券を配布させていただいております。

さらには、地域消費を喚起するためのプレミアム商品券の第1弾から今回の第5弾までの発行額がトータル13億円で、市民1人当たり換算すると約5万8,000円を発行したことになります。

市民の皆様を対象とした4つの事業の総額は、約8億5,000万円となりまして、プレミアム商品券を合わせますと、約21億5,000万円規模の地域への経済対策を講じてきたところでございます。

新型コロナウイルス感染症や原油価格などの高騰による影響も長期化しておりますので、引き続き、市民生活の支援をはじめ、地域経済を維持・継続していくための必要な支援に取り組んでいかなければならないと考えているところでございます。

次に、観光振興についてでございます。

春以降、ようやく復興に向けた動きが活発になる中、7月から全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により依然として厳しい状況は続いておりますが、うれしいニュースもございます。

今年3月に、長崎鼻リゾートキャンプ場内にあるデジタルアートギャラリー「不均質な自然と人の美術館の太陽と月の部屋」が、第25回文化庁メディア芸術祭アート部門で、応募数1,794作品から最高賞の大賞を受賞いたしました。

これは、自然をモチーフにした作品で、最新の技術によって太陽の光の動く軌跡を来館者が直接体験できる点などを評価いただいたもので、今月16日から東京の日本科学未来館を主会場とし受賞作品展が開催され、当美術館もサテライト会場となることから、改めて本作品が世界に発信されるところでございます。

同じく長崎鼻リゾートキャンプ場でございますが、今年のヒマワリは生育が順調で、開花期間中も天候に恵まれたことからお盆を中心に多くの観光客で賑わい、8月の観光入込客数は昨年と比較しますと倍増しております。

また、本日7日から10日までの4日間、日本温泉科学会第75回大会が本市で開催されます。本学会は

9月7日

約80年の歴史を持つ温泉に関する総合科学の学会であり、期間中は、日本各地から温泉に関わる幅広い分野の研究者、技術者、経営者の方々などが来訪されることから、くにさき六郷温泉を全国に発信できる、またとない好機となっております。

これらの好機を最大限活用し、コロナ禍にも対応した観光振興を推進してまいりたいと考えているところでございます。

次に、子育て支援についてでございます。

本市は、充実した子育て支援と手厚い移住施策により、ありがたいことに子育て世代の移住者が増えている状況でございます。

こうした背景の中、総務省が公表した令和3年の人口移動の数値によりますと、本市を含め約700ある過疎市町村のうち94市町村が、転入者が転出者を上回る転入超過となっており、この中で本市の転入超過数が145人で最も多かったと報じられたところでございます。

さらに、出生数は令和元年度が140人、令和2年度が149人、令和3年度が166人と増加傾向にございます。

このようなことから、市内保育所の申込みが大幅に増加し、市外保育所等を利用しなければならない状況が生じており、この状況を改善すべく、民間保育施設を新設するための助成や保育士を確保するため最大30万円の就職支援金を用意するなど、ハード・ソフト両面にわたって支援を行ってきたところでございます。

こうした経緯を経て、9月1日に新しい保育所、さわらび保育園が開園されたところでございます。

この保育所は、主に0歳から2歳までのお子さんを受け入れる施設となっており、市内の社会福祉法人により運営されます。

また、今年4月からは、市外保育所に通う場合につきましても保育料を無料化とさせていただくなど、必要な対策にもスピード感を持って取り組んでいるところでございます。

引き続き、子育て環境の充実を図れるよう全国トップレベルの取組を進めてまいりたいと考えております。

次に、本年4月に実施された学力調査についてでございます。

小学校5年生、中学校2年生の大分県学力定着状況調査では、小学校の全ての教科、中学校においても、ほぼ全ての教科で大分県平均を上回りました。

また、小学校6年生、中学校3年生を対象の全国学力・学習状況調査では、小学校の国語、算数、中学校の数学で全国平均を上回ったところでございます。

このことは、教育活動を制限せざるを得ないコロナ禍におきましても、1人1台のタブレット端末の活用や創意工夫した学習環境の整備などにより、着実に学びを深め、学力を身に付けてきた成果と感じております。また、幼稚園から中学生までを対象とした学びの21世紀塾におきましても主体的な学びを提供する取組が定着し、学力向上に繋がっているものと考えております。

また、5月に開講しました高田高校生のための学びの21世紀塾では、平日の午後5時過ぎから9時までの学習を行う無料塾として、現在38名の生徒が通っております。それぞれの進路実現に向け、大学の受験対策を中心とした授業などが行われており、受講者や保護者からはご好評いただいております。

さらに多くの生徒へ学習支援を行うため、新たな受講希望者の募集も始めており、今後、80名に広げていく予定でございます。

今後も、さらなる教育のまちづくり・未来を拓く人材の育成に努めてまいりたいと考えております。

次に、スポーツの振興についてでございます。

第60回大分県中学校総合体育大会において、高田中学校・戴星学園軟式野球部、戴星学園柔道部女子と高田中学校空手道部女子が、それぞれ団体優勝いたしました。個人でも柔道、空手、陸上男子1500メートルなどで優勝、準優勝と素晴らしい成績を収め、全国大会や九州大会の出場権を獲得いたしました。

九州大会では、戴星学園女子柔道部が初優勝、個人では、準優勝と3位になるなどの活躍を見せ、8月22日から25日に行われた全国大会では、柔道女子個人の63キログラム級で戴星学園の荒木心乃夏選手が3位、柔道女子団体でも戴星学園が敢闘賞を受賞するなど、素晴らしい健闘を見せてくれました。

また、8月3日から20日まで行われた全国高等学校総合体育大会におきましては、高田高校からカヌー部、柔道部、空手道部が出場し、カヌー部が男子20メートルカヤックペアで3位、女子200メートル・500メートルカナディアンペアで8位に入賞するなど、8種目で入賞し、男女とも優秀な成績を収めてくれました。

スポーツの好成績の報告には、私も大変うれしく、選手の皆様には、さらなる高い目標を持って頑張っ

ていただき、今後の活躍に期待しているところでございます。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その概要をご説明申し上げます。

第36号議案の令和4年度一般会計補正予算（第2号）につきましては、7億432万円の増額で、補正後の予算総額は、180億7,380万2,000円となります。

その主な内容につきましてご説明申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策に関連する補正予算でございますが、民生費では、緊急小口資金等の特例貸付を利用できない生活困窮者世帯に対する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を増額計上しております。

農林水産業費では、肥料をはじめ各種資材の価格高騰の影響を受ける農家等を支援する農業用資材等物価高騰対策支援事業費、消費が低迷している地元産牛肉を学校給食に提供する地域特産牛肉消費拡大事業費を計上しております。

商工費では、燃料価格高騰により経営が圧迫される運送事業者を支援する運送事業者等燃料価格高騰対策支援事業費、売上が減少した中小企業の設備投資等に補助する中小企業再生支援事業費、コロナ禍で大幅に減少したバスツアーの企画・造成を促進する都市圏観光誘客対策事業費を計上しております。

通常分といたしましては、総務費に、令和3年度決算剰余金を減債基金に積み立てる経費、農林水産業費では、白ネギ栽培の拡大を支援するねぎ産出額100億円プロジェクト推進事業費、乾シイタケ生産の新規参入者に対する初期費用の支援や省エネ乾燥機導入を支援する経費などを計上しています。

商工費では、夷地区に展望台等を整備するための設計費、原油価格高騰の影響を受ける温泉施設への補助経費などを計上しております。

消防費では、消防団員の出勤報酬を改善する経費、教育費では、全国・九州中学校体育大会出場補助の増額などを計上しております。

第37号議案の令和4年度水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、給水地域拡張事業に係る地方債の借入額を40万円増額するもので、補正後の資本的収入の予算総額は、9,588万8,000円となります。

次に、第41号議案、令和3年度の各会計における決算について、ご説明申し上げます。

一般会計決算の概要についてでございますが、歳入総額は172億8,446万3,000円、歳出総額は165億6,

443万8,999円でございます。翌年度へ繰越すべき財源2,199万9,000円を差引いた実質収支は、6億9,802万5,001円の黒字となっております。

普通会計における経常収支比率は83.6%であり、前年度に比べ7ポイント改善しております。

この要因は、分母となる経常一般財源について、市税は減収となったものの、追加配分のありました普通交付税が約4億200万円増加したほか、臨時財政対策債や地方特例交付金の増などにより、前年度と比較して5億9,862万7,000円、率にして7.1%の増となりました。また、分子となる経常経費充当一般財源は、生活保護費の減少などにより、前年度と比較して9,478万6,000円、率にして1.2%の減となったことによるものでございます。

普通会計における市債残高は約158億3,000万円で、前年度から約3,000万円増加しております。一方、出納閉鎖時における基金残高は約108億7,000万円で、前年度から約9億8,000万円増加しております。

そのほか、報第8号及び報第9号でご報告しておりますとおり、実質公債費比率は4.4%で前年度に比べ1.6ポイント改善し、引き続き早期健全化基準を下回るものとなっております、各会計における資金の不足もなく、健全経営に努めてまいったところでございます。

なお、各会計における詳細につきましては、令和3年度の豊後高田市歳入歳出決算書及び歳入歳出決算事項別明細書、豊後高田市水道事業会計決算書、豊後高田市下水道事業会計決算書及び主要施策の成果説明書のとおりでございます。

次に、予算以外の議案等についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみご説明申し上げます。

第38号議案の過疎地域持続的発展計画の変更につきましては、各事業の追加や名称の変更等のほか、豊後高田市公共施設等総合管理計画の改訂に伴い、本計画の一部を変更したいので議決を求めるものでございます。

第39号議案の豊後高田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正につきましては、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、職員の育児休業の取得要件等を緩和するため、所要の規定の整備を行うものでございます。

第40号議案の豊後高田市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例及び豊後高田市特別職の職員で非常勤のもの等の報酬及び費

9月7日

用弁償に関する条例の一部改正につきましては、地域防災力の中核である消防団の充実強化として、消防団員の処遇改善を図るため、水火災等の職務に従事した場合の出動報酬額の引上げ等を行うものでございます。

以上で、本定例会に提出いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（土谷信也君） 次に、第41号議案から第43号議案について、監査委員に決算審査意見報告を求めます。

代表監査委員、安部多喜男君。

○代表監査委員（安部多喜男君） 本定例会に上程されました、令和3年度豊後高田市歳入歳出決算及び令和3年度豊後高田市企業会計歳入歳出決算につきまして、豊後高田市監査基準、地方自治法第233条第2項及び公営企業法第30条第2項に基づき審査を行いましたので、その結果をご報告申し上げます。

一般会計及び特別会計の審査の結果、各会計の歳入歳出決算及び附属書類は、関係法令等に準拠して調製されており、計数は正確であり、令和3年度の決算を適正に表示していることを認めました。

企業会計であります水道事業会計及び下水道事業会計につきましても、会計決算書及び附属書類は、関係法令に準拠して調製されており、経営成績及び財政状態も適正に表示されておりました。

議案についてのご報告は以上でございますが、令和3年度豊後高田市基金の運用状況、令和3年度豊後高田市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類につきましても、審査に付されましたので、その結果についてもご報告させていただきます。

まず、基金の運用状況についてでございます。

豊後高田市土地開発基金の運用状況調書の計数を関係書類により確認した結果、正確であると認めました。

次に、令和3年度の健全化判断比率及び資金不足比率についてでございます。

これらの比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は適正に作成されており、その比率は早期健全化基準及び経営健全化基準を下回り、いずれも健全化を確保していると認めました。

なお、ただいまご報告させていただきましたほか、各審査の詳細につきましては、議案書に付けてお配りされております意見書のとおりでございます。

長くなりますが、最後に監査委員としての所見を申し述べさせていただきます。

令和3年度は、オール豊後高田での取組により、コロナ禍にありながら様々な成果を上げられ、決算におきましても、地方交付税が増加したこと等もありますが、経常収支比率も83.6%と前年を大きく下回っています。

しかしながら、今後におきましては厳しい財政状況も懸念されるところでありますので、今後とも財政を取り巻く様々な状況を的確に把握し、必要な財源の確保に努め、最小の経費で最大の効果を発揮し、市政の発展と住民福祉の向上に一層努力されることを望みます。

○議長（土谷信也君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日から9月12日まで休会いたします。

次の本会議は、9月13日、午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、9月8日正午までに提出願います。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時42分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議長 土谷 信也

豊後高田市議会議員 安東 正洋

豊後高田市議会議員 北崎 安行